

交渉情報	NO.92	日本郵便信越支社 郵便・物流オペレーション部
JP労組信越地方本部	2018年5月14日	添付資料:36枚

2018年度お中元期業務運行推進の基本方針・要綱について

関連：中央交渉情報日本郵便第188号

日本郵便信越支社郵便・物流オペレーション部は、本日（5月14日）「2018年度お中元期業務運行推進の基本方針・要綱」について地方本部に説明してきました。

標記の基本方針については、昨年度中元期以降からゆうパック等の増加傾向が続く中での業務運行状況を踏まえた上で「業務及び要員配置計画」を策定し、基本方針として「営業と業務が一体となった大口顧客対応と適切なリソース確保」、「安全の確保」、「コストコントロール」、「品質の維持・向上」に取り組むとしております。

「支社資料」は基本方針・要綱等の詳細、「別添資料」はお中元期ゆうパック引受予測、輸送容器への積込みのポイント、引受時の包装確認のポイント、誤送発見時の基本的な対応フロー等について記載されています。

詳細は支社資料を参照願います。

地本としては、全国の引受予測個数が対前年比 114.7%となっているが、正常な業務運行確保の観点から、到着（配達）個数が重要であるため、期間内の信越の到着予測個数を示すように求めたところ、後日説明を受けることとしました。また、コストコントロールの趣旨は理解するが、コストの抑制ばかりが強調され必要なものまで削減し、サービス、業務運行、品質に支障を来すことのないよう指導をおこない、要員対策にも万全を期すことをもとめました。これに対して支社は、サービス、品質に支障をきたすことが無いように、また労働力の確保に向けて指導を徹底していくとの考え方を示しました。

さらには、業務運行については現場で良く意見交換できるよう対処することを申し入れ、支社も確認しています。

標記業務運行に対して、齟齬や問題が発生した場合は、単局窓口等で対処するとともに地本へ連絡願います。

【労使対応】 地本への情報提供